

令和元年度 第2回 掛川市地域公共交通会議 会議要録

日 時：令和2年1月15日（水）午後1時15分～3時15分

場 所：掛川市役所5階全員協議会室

出席委員：19人（随員3人）（欠席委員4人）

次 第：

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 議事

〈報告事項1〉遠州鉄道路線バス「掛塚さなる台線（横須賀系統）」の今後の対応について
・遠州鉄道より2021年3月末退出予定の「掛塚さなる台線（横須賀系統）」について説明。

質疑・意見)
・特になし

〈協議事項1〉自主運行バス後期高齢者運賃無料運行実証実験（案）について
・後期高齢者医療保険証をお持ちの方を対象に、東山線、満水線、栗本線、倉真線、居尻線、桜木線、掛川大須賀線の7路線において無料運行実証実験を実施することについて提案。

質疑・意見)
・運賃のバラつきがあるが運賃額の算出方法についてはどのように考えているか。
回答→運賃額＝過去実績平均額として考えている。平均額は、運行分収入（実績）÷運行分利用者数（実績）によって算出する。
・実証実験終了後、無料運賃を継続する場合は事業者等への影響もあるため相談を望む。
回答→実験結果のデータを分析し、改めて協議していく。

〈協議事項2〉デマンド型乗合タクシーの利便性向上策（案）について
・デマンドタクシー全エリアの運賃改定・乗合割引制度導入及び大須賀エリア大須賀地区内の目的地追加について提案。

質疑・意見)
・大須賀地区目的地の追加にあたり、秋葉中遠線沿線市町の袋井市・森町とは協議済か。
回答→2市町に対し事前説明及び了解を得ている。
・目的地追加エリアの時刻表はどのような根拠で決定したのか。
回答→地域の要望を受けて検討し決定した。

〈協議事項3〉自主運行バス市街地循環線の利便性向上策（案）について
・南周り平日便も霊園を経由することで利便性向上を図り、便数を一本化。合わせて北回り

について、掛川駅北口南北線乗換維持のため、便数一本化を提案。

質疑・意見)

・利便性向上策の実施にあたり安全面について公安委員会及び道路管理者と協議済か。

回答→バス事業者が両者と協議し了解を得ている。

・本施策は、「十九首北」バス停の廃止で路線廃止ではないということによいか。また、バス停廃止による利用者への影響はいかがか。

回答→バス停廃止であって路線廃止ではない。十九首北バス停利用者は1日約5人、1便平均約0.29人。廃止するバス停から約100m先に新設予定である。設置箇所確定次第地元に対し説明を行う。

〈協議事項4〉自主運行バス掛川大須賀線の利便性向上策（案）について

・フリー乗降区間・バス停留所の設置及び一部ルート変更・ダイヤ改正について提案。

質疑・意見)

・利便性向上策の実施にあたり安全面について公安委員会及び道路管理者と協議済か。

回答→バス事業者が両者と協議し了解を得ている。

・フリー乗降区間設置箇所について、バス事業者とどのような協議をしたか。

回答→地域の要望を踏まえ、設置要望箇所の安全性についてバス事業者と協議し決定した。

〈協議事項5〉自主運行バス東山線の利便性向上策（案）について

・増便による通勤利用者の獲得及びルート延伸について提案。

質疑・意見)

・利便性向上策の実施にあたり安全面について公安委員会及び道路管理者と協議済か。

回答→バス事業者が両者と協議し了解を得ている。

・経営悪化の懸念があるため、タクシー事業者との事前協議を済ませた上で進めてほしい。

回答→タクシー事業者に対する配慮が足りなかったため、今後は事前の協議を密に行っていく。

〈協議事項6〉公共交通協働エリアにおける取り組み（案）について

・東山口地区地域福祉バスを道路運送法による生活支援車に切り替えることについて提案。

質疑・意見)

・特になし

〈協議事項7〉掛川市地域公共交通網形成計画2年目評価（案）について

・平成29年8月に策定された掛川市地域公共交通網形成計画における方針に基づく計画目標の評価指標について、2年目評価の報告。

質疑・意見)

・特になし

〈協議事項8〉地域間幹線系統の評価と取り組み（案）について（静岡県）

・地域間幹線系統についての評価報告。

質疑・意見)
・特になし

〈協議事項9〉令和2年度 掛川市生活交通確保計画（案）について（掛川市）
・令和2年度の掛川市での公共交通サービスの計画について提案。

質疑・意見)
・特になし

→すべての協議事項について、原案通り承認された。

5 その他

(1) 運転免許証自主返納者公共交通利用助成券について

質疑・意見)

・運転免許証自主返納によるタクシー助成券の交付割合について教えてほしい。

回答→85.1%。

6 閉会